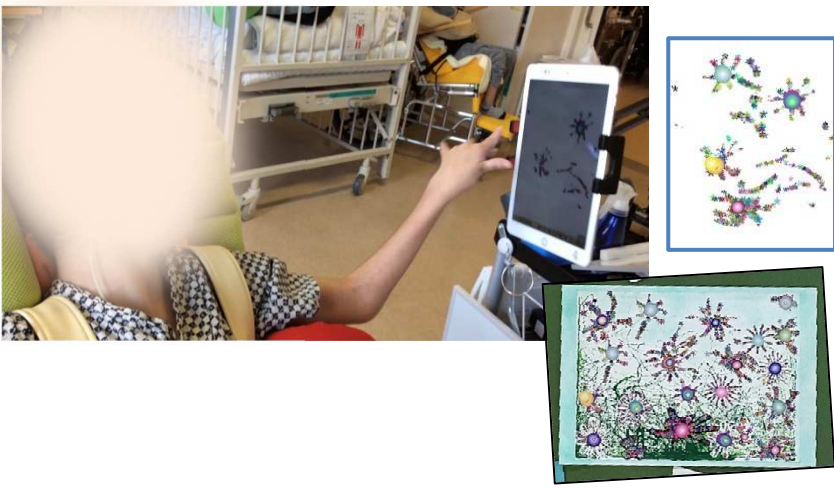


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

「できる」活動を引き出して、主体的に表現活動をするための ICT 活用 「学校祭のポスターにデジタル表現を取り入れた活動」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校 高等部3年（重複障がい学級）
	障がい名等	病弱
	子どもの実態 （学習上又は生活上の困難さ等）	<ul style="list-style-type: none"> ・四肢体幹機能障がいがあり、過度の筋緊張もみられ、身体の動きを調整することが難しい。 ・1年前に体調を大きく崩し、口径摂食から24時間の経鼻経管栄養(胃、小腸)になったことで、日常の活動に大きな制限がある。
授業について （教材・教具を使用した授業や指導場面）	教科名等	自立活動
	単元(題材)名	題材名「秋桜祭のポスターを描こう」
	題材の概要	お絵かきアプリを使用してタブレットの画面に触れて、学校祭のポスター原画をコスモスの花をイメージして描く。手の動きに合わせて、タブレットの向きを調整する。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○画面に触れると音が出ることで、手指を積極的に動かす。 ○「できた」という成就感をもつ。 <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キラキラお絵かき」アプリは、タブレットの画面に触れると音が鳴るため、「触れる」「聞く」「見る」などの感覚器を活用して、主体的な手指の動きを引き出すようにした。 ・手の可動範囲内にタブレットを設定し角度を調整しながら直線的な描き方でコスモスの花に表現できるようにして、教師の支援を最小限に留め本人が達成感をもてるようにした。 ・作画した絵（コスモスの花を表現）は、本人がビー玉転がしの技法で描いた線描画（コスモスの葉を表現）に、コスモスの花の配置をやりとりしてポスターの原画に構成した。
	材料・作成方法等	タブレット端末、アプリ（キラキラお絵描き） タブレットスタンド
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・学校祭のポスターの原画制作では、お絵かきアプリを使用して取り組んできた経験があり、「興味のある活動」でもあり、見通しをもって取り組むことができた。